

北海道高等学校文化連盟
第18回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- | | | |
|----|-------|--|
| 1 | 主 催 | 北海道高等学校文化連盟 |
| 2 | 後 援 | 北海道教育委員会 |
| 3 | 主 管 | 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部
北海道高等学校文化連盟空知支部 |
| 4 | 当 番 校 | 北海道岩見沢農業高等学校 |
| 5 | 期 日 | 令和3年11月11日(木) |
| 6 | 会 場 | 北海道岩見沢農業高等学校 |
| 7 | 実施形態 | 参加形態を2パターン用意。①当日大会の様子をZOOM配信し、それを視聴することでの参加。②ZOOMでの参加が難しい場合は、後日当番校HP上にて大会動画を視聴することで、大会参加とする。 |
| 8 | 参加資格 | 道高文連に加盟した学校の生徒であること。 |
| 9 | 参加経費 | 不要 |
| 10 | 申込方法 | 参加申込書データに必要事項を入力し、E-mailで下記アドレスに送信願います。なお、参加申込書は、当番校のHPからダウンロードできます。 |
| 11 | 申 込 先 | 第18回全道高等学校ボランティア研究大会事務局（担当：大杉 佳奈）
E-mail： 757379@hokkaido-c.ed.jp |
| 12 | 申込期日 | 令和3年10月1日(金)16：00必着 |
| 13 | 閲覧期間 | 令和3年11月中旬～令和3年12月中を予定。
※ 詳細が決定次第、改めて連絡いたします。 |
| 14 | 備 考 | (1) 参加は任意と致します。
(2) 次のことは、本年度は実施いたしません。
ア 分科会
イ 交流の場 |
| 15 | 連 絡 先 | 北海道岩見沢高等学校内
第18回全道高等学校ボランティア研究大会事務局（担当：大杉 佳奈）
〒068-0818 北海道岩見沢市並木町1番地5
TEL 0126-22-0130
FAX 0126-22-5362
E-mail 757379@hokkaido-c.ed.jp |

北海道高等学校文化連盟第18回全道高等学校ボランティア研究大会実施要領（案）

- 1 目 的 ボランティア活動に取り組む高校生の研修と情報交換、交流の場を設ける。
- 2 テー マ 「SDGsとボランティア活動～私たちにできる「誰一人取り残さない」取り組みを考える～」
- 3 研修内容
 - (1) 実践発表
岩見沢市内5校の取り組み（R2～コロナ禍でのボランティア活動の実施）について
 - (2) 全体講演
演題「フェアトレード、知ることから始まる新たなボランティア活動～今求められるSDGsの視点～」（変更する可能性あり）
講師 高見 早苗 様（山口ケニアを知る会代表、フェアトレード北海道副代表）
- 4 会 場 北海道岩見沢農業高等学校
- 5 日 程 令和3年11月11日（木） 当日ZOOM配信・当番校HP上にて後日動画配信

時 間	内 容	備 考
9：00～	ZOOM配信準備・開始、動画撮影確認	
9：30～9：40	開 会 式	
9：45～10：15	実践発表 空知管内5校の取り組み（R2～コロナ禍での実施について）	撮影した動画は、後日当番校HP上で配信を行う。
10：20～11：30	全体講演 全体60分、質疑応答10分	
11：35～12：00	閉 会 式	

- 6 大会参加（動画視聴）後の、大会参加報告について
 - (1) 当番校HP上にある書式で、
 - ①動画視聴の感想
 - ②『コロナ禍でも高校生としてできるボランティア活動について。』を記入し、学校単位で意見を集約してから、当番校の担当者へメール添付する。
 - (2) 集まったデータを当番校で集約し、大会参加・報告とする。後日、当番校HP上にも大会報告をPDF形式で掲載し、情報を共有できるようにする。